

ほら!あなたのそばにも三ツ星ベルト

世界中の暮らしを支え続ける。あなたのそばにも 必ず“私たち”が隠れています。



人を想い、地球を想う

「人と地球」という観点から、「技術の方向性」「製品の役割」を見つめ直し、継続して人と社会に貢献することで、より快適で豊かな未来を目指します。



国内・海外のネットワーク

国内には多くの支社や工場、事業所が置かれています。また北米・ヨーロッパ・東南アジアとあわせて9カ国12拠点の事業場を持ち積極的に海外展開を進めています。



定期的に開催される世界代理店会議には、30ヶ国以上のお客様をお迎えしています。





三ツ星ベルトで“働く”“輝く”“華やぐ”未来へ。

営業 Sales

INTERVIEW
入社時

研修により説得力のある営業ができます!

工場研修は「モノづくり」を学ぶだけでなく、現場の方々と仲良くなることも心掛けました。おかげで多くの事を学ぶことができ、顧客との打合せ時に説得力のある説明ができる様になったと感じています。また、夜勤などを経験して現場の厳しさを知ることができたのは、とても良い経験となりました。

INTERVIEW
配属後

技術職と営業職のつながりが強み。

現在は自動車用のベルトシステムの営業を担当しています。当社は技術部門と協力して営業活動を行う事も多く、様々な部署と協力し合う大切さを感じています。営業活動が実を結び、当社製品を採用いただけた際には関係者全員で喜びを分かち合います。

製品設計 Product design

INTERVIEW
入社時

指示されたことを確実に完了させていました。

1年目の工場研修は体力的に追いつくのが精一杯で、仕事に慣れるまでがとても大変でした。技術部に配属後も更に6か月の研修があり、多くの部署で様々な業務に触れることができました。研修期間中は、指示されたことを確実に完了できるように心掛けていました。

INTERVIEW
配属後

研修で得たものが、すぐに活かされました。

他部門の社員と上手に関わることができるか不安でしたが、研修中に様々な部門を経験したことで先輩に顔を覚えてもらい、最初から仕事をやりやすかったです。現在はワレタンベルトの配合設計からベルト設計までを行っています。案件をしっかりと完了させることを第一に考えています。

設備設計 Equipment design

INTERVIEW
入社時

各部署での研修が今につながっている。

工場研修ではベルトのカットや研磨など幅広い工程を経験し、ベルトができるまでの一連の流れと設備の動き方を学びました。本社研修では打合内容の記録や報告書の作成に苦労しました。しかし、その時指導していただいたことが仕事を進める上で大いに役立っています。

INTERVIEW
配属後

非常にやりがいを感じる仕事です。

現在は生産設備の設計を行っています。設備の要求部門と打合せをした内容を基に設計を行い、機械図面を作成します。試行錯誤の結果、担当した設備が求められている仕様を満たして、無事に工場で稼働している姿を見た際には非常にやりがいを感じます。

業務の流れ

営業

材料設計

産業資材 営業第2事業部
'17年入社 経済学部

自動車メーカーや工場など、さまざまな取引先に出向き三ツ星ベルト製品を採用して頂けるよう尽力します。

産業資材基盤技術部 材料研究科
'17年入社 理学研究科化学専攻

製品設計

生産技術

産業資材 製品技術第1部設計1課
'16年入社 工学府物理情報工学専攻

製品材料の配合設計からベルトの設計などをを行い、求められている機能を持った製品を実現させます。

産業資材生産統括部 四国地区生産担当
'16年入社 先端技術科学教育部 物質生命システム工学専攻

設計部門と生産部門を繋ぎ、原材料から製品が完成するまでの工程設計や製造条件化、設備および作業の改善を行います。

設備設計

生産管理

エンジニアリング事業部 プラント部設計課
'16年入社 工学研究科機械系工学専攻

自社工場で使用する生産設備の設計をおこなっています。機械図面を作成したり、組立後の設備の試運転を繰り返した後、国内外の工場に納めます。

産業資材生産管理センター 生産管理担当
'17年入社 文学部

生産計画に基づき発注や生産の手配、製品登録など、さまざまな業務を行い、会社全体を効率的に動かします。

Material design 材料設計

INTERVIEW
入社時

なるべく自分で先に考えることを心がけました。

研修中、初めはミスをするなど先輩方に迷惑もかけましたが、作業を一人で出来るようになった達成感は大きかったです。また、本社での研修は4つの部署を回ることで多くの先輩に顔を覚えてもらいました。現在も仕事を円滑に進めやすく、助かっています。

INTERVIEW
配属後

考察と改善の繰り返しで、良い結果が出た時のやりがい。

現在は新規材料を検討するためにラボスケールでのゴム練やゴムの物性評価・分析を行なっています。狙い通りの結果にならないことが多いため、検討した材料の物性が予測通りの結果になった時にはとてもやりがいを感じることができます。

Production engineering 生産技術

INTERVIEW
入社時

必要とされている場所がある実感。

短期間で先輩方と同様の仕事を次々と覚える必要があり、最初は戸惑いました。しかし、作業ができるようになると自分が必要とされている実感がわいてきました。慣れてきた頃には次の作業を考え、何事も前もって準備を進めていくようになりました。

INTERVIEW
配属後

生産ラインの“縁の下の力持ち”

現在は新製品の製造条件を設定したり、設備レイアウトの変更や設備の効率的な稼働により生産性を向上させる原価低減活動を担当しています。計画通りの製品ができあがったり、原価低減の実績が金額として表れた時にやりがいを感じます。

Production control 生産管理

INTERVIEW
入社時

先輩方から優しく指導していただきました。

研修は不安でしたが、現場や本社ともに周りの先輩方は優しく丁寧な方ばかりで、質問などもしやすく良い環境でした。最初は全く知識がなく大変でしたが、1年の研修により製品に対する理解が深まり、さまざまな部署での研修により知識が広がりました。

INTERVIEW
配属後

生産の一端としての責任感を持つ。

海外工場に製品を発注したり、試作品の生産手配が主な業務です。成果が目に見えて表れることは少ないですが、ミスをすることで生産に支障をきたすこともあるため、責任感を持って業務に取り組んでいます。手配から生産までの流れがスムーズに進んだ時にやりがいを感じます。